



堅田くじら保育園だより 8月号

発行：大津市堅田1丁目7-18
TEL 548-8288 Fax 548-8287



ようやく梅雨が明け、夏がやってきました。

昨年はコロナウィルスの影響でプールあそびを見合わせていましたが、今年は感染対策をしながら、プールあそびを再開しました。夏の太陽のもと、気持ちも開放し、水・プールあそびを楽しんでいます。水あそびや泥んこあそびで水に触れ、感触を味わってきたため、プールに入ることに抵抗や戸惑いは少なかったようです。それぞれのペースでプールあそびを楽しみ、全身で水の感触や心地よさを感じ、夏ならではのあそびを満喫してほしいです！



8月のお盆期間(13日・14日)は希望保育です。

お盆とは…

ご先祖様の霊を迎え、感謝し供養する行事です。自分の命は父母から受けつぎ、父母もまたその父母から受けついでいる…。昔むかしから受けつがれてきた自分の命を大切に、ご先祖様に感謝の気持ちを伝える日。

ご家庭で地域の行事やお盆の行事に参加するなどして、保育園ではできないことを経験できるといいですね。

★ありがとうございました

個人懇談では、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。限られた時間ではありましたが、保育園でのお子さまの様子をお伝えすることができてよかったです。また、お家での様子を聞かせていただき、お子さまの意外な一面も知ることができました。今後の保育の参考にさせていただきたいと思います。これからもご家庭と同じ方向で子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

8月30日(月)～9月10日(土)の2週間、大学で幼児教育学科を学ぶ学生の保育実習を受け入れます。

全国的な保育士不足という状況の中、本園でも保育士養成に協力しようと考えています。いろいろなクラスに入って実習をします。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



★ 9月の予定

3日(金)スポーツ教室 10日(火)身体測定0・1歳児・幼児
13日(月)山の日 15日(水)避難訓練
20日(火)誕生会

8月行事

| | | |
|----|---|---|
| 1 | 日 | |
| 2 | 月 | |
| 3 | 火 | |
| 4 | 水 | スポーツ教室 |
| 5 | 木 | 視力・聴力検査(5歳児) |
| 6 | 金 | 夕やけ保育(5歳児) |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | 山の日 |
| 9 | 月 | 山の日振替 |
| 10 | 火 | 身体測定0・1歳児・幼児 |
| 11 | 水 | 身体測定2歳児 |
| 12 | 木 | |
| 13 | 金 | 希望保育(お弁当) |
| 14 | 土 | ↓ |
| 15 | 日 | |
| 16 | 月 | |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | 避難訓練(火災) |
| 19 | 木 | |
| 20 | 金 | 誕生会 |
| 21 | 土 | |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | |
| 24 | 火 | |
| 25 | 水 | |
| 26 | 木 | |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | ★  ★ |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | 実習生受け入れ(~9/10まで) |
| 31 | 火 | そら・くじら午睡終了 ↓ |

今月もカレンダーにご注意ください。

- ・9日(月)は山の日振替となり休日です。
- ・11日(水)は平日となりますので通常保育を行います。

脳と運動の関係

食と教育研究家の廣瀬正義さんによると、運動前と運動後で記憶力を調べると、運動後のほうが10~15%くらいよくなったそうです。記憶力がよくなったのではなく、脳の活性度が高まったのです。しかも、腕立て伏せなどの上半身を使った場合と、ランニングなどの持久走をやったあとでは、後者の脳の活性度がいい。筋肉を使ったほうが、脳の活性度も高まるといえます。

脳は使うことで働きが維持されます。脳を使うというのは、いわゆる知的な使い方と、運動的な使い方のふたつの意味があります。運動的な使い方というのはあまり知られていませんが、脳を維持している筋肉を使うことで、その刺激が自然に脳に信号を送って、脳を活性化させていくということです。それがないと脳は委縮してしまいます。

幼児期は、脳も体も急速に発達していく時期です。だからこそ、子どものときほど、運動をさせなければいけないのです。鬼ごっこや縄跳びなど、体を動かす遊びには、多様な動きが含まれています。特定のスポーツを続けるよりも、いろいろな動きを獲得するのに効果的なのです。小さいときから、転んじゃいけない、すり傷をつけたら大変だ、という子育てをしてしまうと、子どもは筋肉の発達のうえでもどんどん弱くなっていきます。体を動かして遊ぶことの楽しさを伝え、ワクワクやドキドキを通して、カラダ力をアップさせましょう！

今井和子 著より



乳幼児期は、人として育っていくすべての土台を作る時期です。これからの長い人生をおくるためのしっかりした体や社会生活を営むための生活リズムもこの時期が土台となります。園でも友だちや保育士とともに楽しい遊びの経験を通して体を動かすことの楽しさを味わえるようにしています。散歩や運動遊びを通して体を動かし、友だちや保育士と楽しさを共有することで心も動かしていくことを大切にしています。

この時期はプールあそびで体を十分に使っています。全身で水を感じ、ワクワク・ドキドキしながら心も動かしています。友だちと一緒に遊ぶことで楽しさの共有もできて充実感にもつながります。心と体はつながっているんですね！

子どもの頃は、転んだりして小さなけがをしてしまうこともあるでしょう。傷が絶えない時期でもあり、心配も多くなります。転んだ経験を通して、どうしたら転ばないようにできるかを考え、大きなけがを防いでいけるように育てていきたいですね。乳幼児期は、自分の体を知る時期です。遊びを通して楽しく体を動かして自分の体を知り、使い方を学ぶことが大切です。自分の体を自分でコントロールできるように、体を動かす遊びを大切にしていきたいです。